



## 志望動機の書き方～就職・進学どちらも必ず通る道～

志望動機というからには、なぜその会社・学校を選んだのかを書くことになります。しかし、A社(校)でもB社(校)でもなくて、なぜC社(校)なのか、つまり「他ではなく、ここがいいんだ」という根拠を探すのがなかなか難しい。「学費が安いから」「自宅から通えるから」「就職内定率が高いから」「先輩もその大学だから」といったホッネは、志望動機書にそのままは書けません。

そこで、少し柔軟に考えます。自分と志望校がぴったりマッチしたり、うまく重なったりなんて、なかなかあるもんじゃない。ぴったりを探すよりも、「自分の興味関心と、ここが関連する」「将来の力を付ける上で、役に立ちそうな授業がこの学校にある」というように、小さな接点を探してみてもはどうでしょう。「求人票に載っている会社理念と自分のやりたいことの共通性」「学校案内資料の在学生や卒業生のコメントから感じる自分との共通性」「職場見学やオープンキャンパスで感じた期待や呼び覚まされた興味」などから志望動機を書いてみましょう。

実際に書くときの注意点。いきなり原稿用紙やパソコンに向かう前に、メモを書きます。書きたい内容を箇条書きで良いので書いていき、①結論②「結論にいたったきっかけ・理由・事実・事例」③ふたたび結論、の3つの流れを作りましょう。そのあとでメモを参考に志望動機を原稿用紙やパソコンに書いていくと、スムーズに作ることが出来ます。

「進路支援新聞」(NPO法人高校生進学支援の会、2016年12月)を参考

## 働くのに必要な力とは

日本経済団体連合会が発表した「2016年度新卒採用に関するアンケート調査結果」によると、就職試験にあたって特に重視した点(5つ選択)について、

1位	コミュニケーション能力	87.0%	(昨年比1.4ポイント増)
2位	主体性	63.8%	(昨年比3.7ポイント増)
3位	協調性	49.1%	(昨年比2.7ポイント増)
4位	チャレンジ精神	46.0%	
5位	誠実性	43.8%	
6位	ストレス耐性	35.5%	

という結果が出ました。

良好な人間関係を構築することの出来る“人間力”を問う、“人物重視”の選考を行っているということですから、これらの資質や能力が自分にどのくらいあるのか、あるいはこれから意識・努力して身につけていかなければならないのか。次の進路活動は、すでに始まっています。

「大学新聞 第138号」(ライセンスアカデミー、2016年12月)を参考

# 合格体験

私は本が好きで、仕事も本に関わりのある職業に就きたいと考えていました。特に、図書館を利用する機会の中で図書館司書という職業に興味を持ちました。図書館司書になるためには資格が必要になります。私は文学を学びながら、司書の資格を取得したいと考えていたので、図書館司書の過程がある大学に進学することを決めました。

私は公募推薦を希望し、小論文と面接試験の対策に取り組み始めました。しかし、小論文についての知識がなく、書き方がわからなかったので苦戦しました。先生に相談し、書き方を教えてもらい、練習問題に取り組むことから始めました。実際の小論文試験では2時間で1000文字程度の文章を書き、出題問題の内容をどれだけ正確に捉えられるかで合否が分かれるものでした。過去問題を解いてみると、問題内容が難しく、理解するまでに時間がかかるものばかりで、とても不安でした。時間までに書き終えなければ、どんなに内容が良くても評価されないと知り、プレッシャーを感じていました。先生からは「問題になれるためにいろいろな問題を解くと良い」とアドバイスをいただき、多くの過去問題を解き、先生に確認してもらいました。面接対策については、過去の資料を参考にして、質問内容と自分の応答内容をノートにまとめていきました。志望理由書からも多く質問されると要項に書かれていたので、志望理由書は長い時間をかけて粘りました。先生方に昼休みと放課後の練習を依頼し、小論文対策と並行して取り組みました。試験当日は緊張していましたが、小論文は時間内に書き終えることができ、面接でも自分の考えを伝えることができました。しかし、面接官の反応が薄く不安が残る結果になりました。合格発表までの1週間は、今まで過ごしてきた中で、1番長く感じるほど緊張した日々になりました。インターネットにて自分の受験番号を見つけることができても、信じられない気持ちでいっぱいでした。何度も確認して、やっと合格したことを認識できました。受験まで頑張ってきたので、本当に嬉しかったです。

私は、3年生の始め頃までは就職を希望していました。私も両親も進学に関する知識は全く持っておらず、「経済的にも準備をしていなかったのが厳しい」と親に言われ、進学すると決めた時はとても苦労しました。しかし、最後には両親も私のことを応援してくれたので頑張ることができました。私は進路について、1つの選択に縛られないで、もっと広い考えていければ良かったと感じています。目標がまだはっきりと決まっていない人は、視野を広く持って進路選択を試してみてください。周りが進路を決め始めると焦りがでると思いますが、自分のやりたいことに挑戦して欲しいです。また、進路に向けて積極的に行動する事が大切だと進路活動を通して感じました。進路は自分自身の問題です。周りの人に合わせる必要はないと思います。友だちと楽しく過ごすことも大切なことだけど、進路は最優先されるものだと思うので、周りに流されずに、自分のペースで頑張ってください。不安なことがたくさんあるかと思いますが、先生方もサポートしてくれるので、相談しながら進路実現を目指して頑張ってください。応援しています。

## 進路決定状況（1月末現在）

### 【就職】

農業（自営）、青葉のまち、日本郵便株式会社（北海道支社）、中華レストラン広州屋台、有限会社キダ、有限会社ありんこ、カワバタ歯科、いこいの湯宿いろは、株式会社ニセコロードサービス、株式会社ピクトリア観光、株式会社サンジェルマン、ほくろう福祉協会、アートコーポレーション株式会社、ニセコ環境株式会社、株式会社高橋牧場

### 【進学】

藤女子大学、札幌大学女子短期大学、札幌スポーツ&メディカル専門学校  
北海道医薬専門学校（医療事務学科）、日本工学院北海道専門学校